

We



直中

私たちは直中が好きといえる、
生徒会活動をめざします!!

生徒会通信 No. (11)
編集・発行 ナオチュウ生徒会
発刊日 平成22年9月30日(木)

今年は「続暑の秋」!!・・・と思いきや??

今年の夏は本当に暑かったですねえ・・・皆さん、この夏をどう乗り切られましたか？
長いようで短かった夏休みが終え、2日後には夏休み明けテスト&診断テスト、さらに
2週間後には期末テストがありました!! 大変な夏休み明けでした・・・。

しかしまあ、このまま暑さが続くと思われていましたが、一気に涼しくなり、秋・到来!
体調管理はしていますか?いつまでも半袖着てないでね!☆

そして、早いもので今期生徒会役員もこの9月末にて任期が終了します。早かった・・・
とても早かったです。さみしくなりますね・・・(泣)なので、この生徒会通信が今期生徒会役員の最後に
発行になります。そこで、会長として、今期生徒会活動の総括をして最終号を終えたいと思います!!



① スローガン「We♡直中 ～ふるさと直島に何ができるだろう～」に迫ることができたか。

今年も植樹活動やチャリティー販売、ゴミ拾いなどの活動がありましたが、本当に直島のことを思い、「直島をもっとよくしたい。」と思っている人たちが今まで以上に意欲を出して参加してくださったので、スローガンに基づいた活動ができました。みんなが、自分の活動に誇りを持つことができた1年だったと思います。

② 具体的な活動

○あいさつ運動

大きな声を出して、あいさつすることができました。私たちのあいさつに、皆さん元気に返してくれました。1年生は初めてのときから、大きな声であいさつをしてくれています。2・3年生は、目を見てあいさつする人が増えてきています。

○ボランティア活動

直中生徒会の代表的な活動「直島一周ゴミ拾いツアー」には、直島をきれいにするために多くの人が参加しました。そのおかげもあり、以前より直島のゴミが減ったのではないかと思います。また、ライオンズクラブの皆さんと一緒に活動することで、地域の方々との交流も深めることができました。これからも、ゴミがない町を目指してこの活動を続けてほしいと思います。

○掲示板

各専門委員会の委員長さんに呼びかけ、協力してもらうことで、掲示物をより華やかなものにすることができました。また、掲示板の横に生徒会通信を貼ることで、掲示板の方にもより自然に目がいくようになったと思います。

○校歌

呼びかけをすることで、以前より歌う人が多くなりました。ただ、まだ全員がしっかりと歌っているわけではありません。直中の生徒としての誇りをもって、しっかりと歌いましょう!

○生徒会通信

今期から導入された「4コマまんが」のコーナーで、今まで以上に読んでくださる方が増えたと思います。また、内容を季節感溢れるものにするよう心がけ、今後の校内での活動や生徒会役員の仕事内容を知る場をつくることができました。

○専門委員会「ふるさと」に関する取り組み

今期の専門委員会は、今まで以上に実行に移すことができました。わがふるさと直島のために、ゴミ拾いをしたり、グラウンドなどの整備をしたりする委員会がありました。また、瀬戸内国際芸術祭とコラボレーションした委員会もあり、地域活性化に大きく貢献することができたと思います。「ふるさと直島に関する取り組み」をととても充実させることができました。

〇〇先生の独り言・・・。

今月は、田中先生で、お題は『お月見団子』です。

テスト1日目の2時間目に3年生の教室に行きました。保健体育のテストをするためです。問題用紙、解答用紙を配り終えてほっと一息ついたとき、何気なく黒板のすみを見ると、そこに何月、何日、何曜日が書かれていました。その日は9月15日水曜日で、水曜日をみんなに知らせていたのは白いウサギ、ウサギの頭の上には、黄色い月と白い雲が2つかかかれていました。ほんの10cmほどの小さな絵でしたが秋を感じるのには十分な内容でした。どの季節が好きですかと聞かれたら、まよわず「秋」と答えます。茶色が基調になる風景の中で、夜風に吹かれながら、ただただ月を愉しむ風流。大人になったなと少し感じる今日この頃です。



校長先生から一言!!

今月の校長先生の一言は、『瀬戸内国際芸術祭～君たちもぜひ訪れて～』です。

直島を始め7つの島と高松で開催されている瀬戸内国際芸術祭。みなさんは行ってきましたか。9/1現在で目標の30万人は突破しています。直島でも10万人の人が訪れています。いい風景、いい作品、島の人たちとのいい出会い。とても豊かな体験になります。

いい文化、いい環境がいい人を育みます。直島以外の所をぜひとも訪れよう。

よかったよ。すごかったよ。驚いたよ。

直島・・・オペラと女文楽。オペラ歌手小浜さんの高く、澄み切った声量のある歌声。有名なマダムバタフライを人形劇とコラボで演じました。感動。

男木・・・直島から見えるおにぎりみたいな島。高齢化が進んでいますが島の人たちは元氣。ここには奥の深い作品がたくさんあり、とても大好きな島です。細い道、たくさんの坂、斜面にへばりついたような民家、そしてオリエンテーリングの感覚で探していく作品。是非とも行ってほしいね。

女木・・・山の頂上の展望は絶景。雄大さと瀬戸内海の美しさが堪能できます。また、洞窟にはメッシュでできたすばらしい作品があります。見とれます。

豊島・・・とても大きい島でした。無料バスが運行し、助かりました。緑の豊かさ、自立する農業に感動。公民館で地域のおばさん達が作っているぶっかけうどんも最高でした。一万人以上の心臓音を集めた作品もありました。ここも感動的な作品が多いので是非どうぞ。

大島・・・ハンセン病との闘いを乗り越えると共に人としての尊厳を求め、長い間ハンセン病への偏見、差別と闘った人たちが暮らしています。島での暮らしの中で和歌、大島焼きを始め、すばらしい作品を生み出し、全国的に知られています。ボランティアガイドの人たちによって、大島の人たちの暮らし、歴史を感じさせる作品、文化に触れたり、説明を受けたりすることができます。

人としての在り方、生き方を考えていく上で、一度は訪れ、島の人たちと交流してほしいですね。

※ 犬島、小豆島は10月に行く予定です。



編集後記

1年間、ありがとうございました!!

生徒会通信No. 11は、森上が担当しました。



©あっちゃん(P.N.)